

し わ 紫波 ネット

SHIWA - NET
人と地域をつなぐ広報紙
No.889 2014

6

紫波ネット889号 平成26年6月11日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392 紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社
<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>



【表紙の写真】星山小学校の5・6年生11人は、学校の東側に位置する田んぼに裸足で入り、泥の冷たさや感触に笑い声や歓声を上げながら、手に持った苗束から3本ずつ摘み取り丁寧に植えていました。(P18)



どろんこになってもピカピカ笑顔！ 星山小田植え体験 (5月19日)

地域みんなで高齢者を見守り支え合う
「みまもってねッ」進行中

04

02 HOT NEWS 紫波町消防演習

古館浄水場建設開始

10 オガールニュース

12 環のくに紫波

15 豊かな公が息づくまち

16 健やかランド紫波

24 シリーズ行ってみよう 訪ねてみよう紫波の達人



HOT NEWS ● 紫波町消防演習



まちの話題 ● 一中ジャイモ植えつけ体験



まちの話題 ● 紫波総合高生が花植え



まちの話題 ● 佐比内トレッキング

地域の安全を守るため 士気高らかに 町消防演習



佐比内小学校の少年消防クラブが
演目「ぶち合わせ太鼓」を披露



スピード感あふれるポンプ操作訓練



強い団結力が表れた部隊訓練



倒壊した家屋からの人命救助訓練



赤石幼稚園とあずま幼稚園児が
特別演技を披露



迅速で的確な応急救急手当を
披露した婦人消防協力隊



華やかで堂々とした分列行進



インタビュー
Interview

川村真知子さん(赤石)、衣吹ちゃん(10歳)、健介くん(8歳)、隆真くん(5歳)

主人が消防団で活動しているので、子どもたちと見に来ました。天気も良く、一斉放水がとても見事でした。また、団員の皆さんが、仕事をしながら有事のために一生懸命活動されている姿は本当にすごいなあと改めて思いました。



ラッパ隊とカラーガードにボランティアで参加した紫波総合高校の皆さん

本番まで、6～7回練習に参加しました。暑くて大変でしたが、練習の成果は100%発揮できたと思います。団員の皆さんの訓練は、想像していた以上にかっこよかったです。



リズムよく高らかに音色を
響かせたラッパ隊



強い意志と使命感を胸に
訓練に臨む阿部団長



4色の鮮やかな放水訓練

32度の猛暑となった6月1日、総合運動公園河川グラウンドで紫波町消防演習が行われました。「町民の生命と財産を守る」という大きな使命を胸に、日々町内で活動している消防団員、婦人消防協力隊員、消防署員など関係者約1000人が参加。

午前7時過ぎの狼煙とともに始まった開会式では統監の熊谷町長が「昨年8月9日の大雨災害では、消防団員の皆さんのおかげで被害を最小限に食い止めることができた。今日もたゆまぬ訓練の成果を発揮してほしい」と訓示。その後、分列行進やポンプ操法、放水訓練などさまざまな訓練が披露され、団員の意気が込もった掛け声とラッパの音が高らかに響き渡りました。その一つ一つの気迫あふれる姿に、堤防に集まった大勢の観客からは歓声が上がったり拍手が送られたりしました。閉会式では、講評官を務める盛岡消防本部の熊谷優消防長から「極めて優秀」との高い評価を受けました。

古館水源系の施設更新工事が進んでいます！

老朽化が進んだ施設を更新し、古館水源取水権最大値の1日当たり4000m³を浄水、送水することを目的に、送・配水管と古館配水池の建設工事、古館揚水場に代わる古館浄水場の建設工事が進められています。工事の進捗状況とこれからの予定をお伝えします。

膜ろ過装置でより快適な給水に

古館浄水場の建設が始まりました

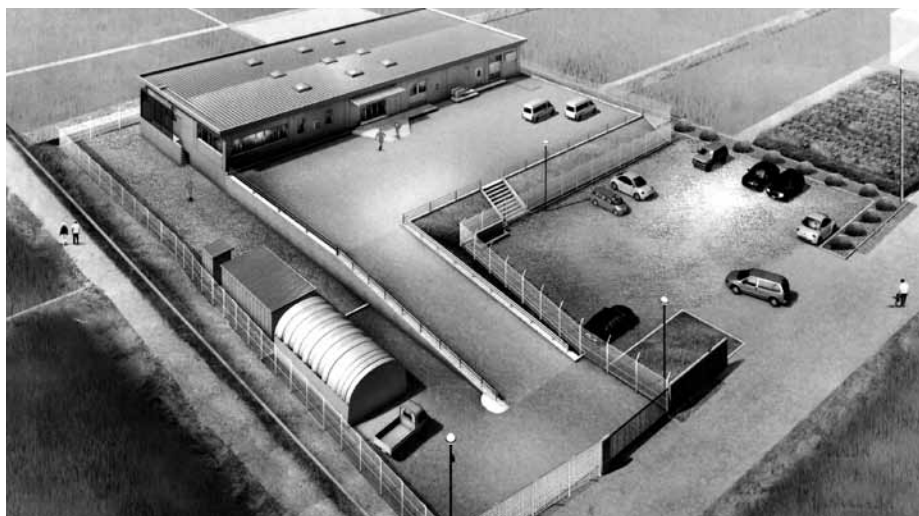
古館揚水場の南側で5月27日、古館浄水場の起工式が行われました。3月末に町水道事業所から事業を引き継いだ岩手中部水道企業団（菊池明彦局長）や、町内の水道業務の委託を受けている明電舎の職員など関係者約20人が出席し、来年秋まで続く工事の安全を祈りました。菊池局長は「旧紫波町水道事業所から引き継いだ施設ですので、万全の体制で確実に事業を進めます」と意気込みを語っていました。

現在の揚水場では塩素滅菌による浄水を行っていますが、新しく整備する浄水場では、膜ろ過装置での浄水を採用。このことにより、自然環境の影響などによる水質変化にも対応でき、いつでも安定した安全な水道水を供給することができます。また、浄水場の建設場所は、県の洪水ハザードマップで浸水想定地区に当たっていることから、約2メートルの水没に耐えられるような施設構造になっています。

来年秋ごろに完成した後、試運転期間を経て、平成28年3月中旬に給水が始まる予定です。



工事の安全を祈る菊池局長



古館浄水場の完成予想図。岩崎川、北上川の伏流水を取り込み、膜ろ過方式で浄水した後、新古館配水池に水を送る役割を担います。

新古館配水池は、残すところ機械設備のみ

新配水池は現在、城山公園内の運動広場（若殿屋敷跡）に建設中です。現在の配水池よりも約20m高い場所であることから、低水圧地区の解消が図られます。貯水容量も30%増えて2100m³になることから、より安定的な水の供給が可能となります。

新古館配水池の建設工事は昨年度から行われています。昨年11月の躯体の完成後、埋戻しが行われました。今後は、施設内部の機械設備工事が始まります。



古館配水池の貯水槽内部

地域みんなで高齢者を見守り 支え合う町独自のネットワーク 「みまもってねット」進行中

国の人口は減少している一方で、高齢者人口は増加しており、平成54年にピークを迎えた後も、高齢化率は上昇を続けると推測されています。全国の市町村には、介護保険サービスや医療保険サービスのみならず、見守りなどのさまざまな生活支援を切れ目なく提供できる仕組み「地域包括ケアシステム」が必要とされています。町は、このシステムの一環として、昨年3月から「みまもってねット」事業を始めました。

これは、婦人団体や老人クラブ、民生児童委員などの団体のほか、医療機関や金融機関、ガソリンスタンドなどの町内企業の協力を得て、進めていくものです。

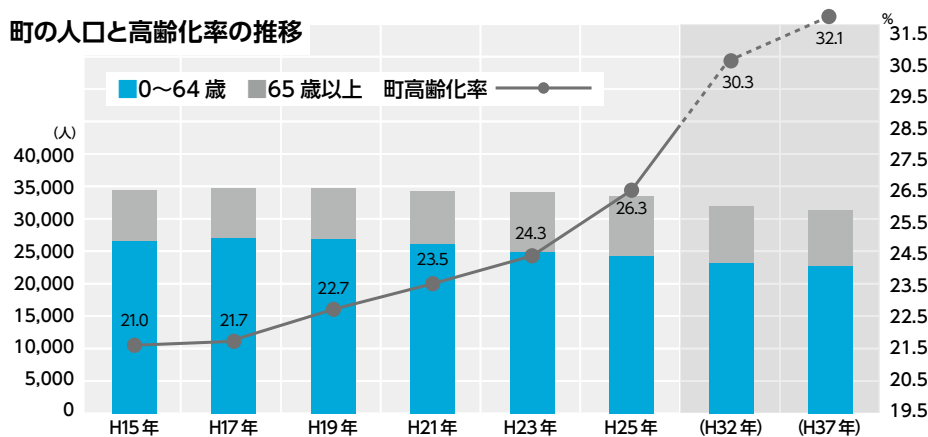
今回の特集では、高齢化社会における町の現状と「みまもってねット」の役割、連携する関係者の皆さんから伺った今後の取り組みへのご意見をお伝えします。

進む高齢化、町の現状は

◎4人に1人が高齢者の紫波町

町の高齢化率は、県、全国の高齢化率と同じく、年々増加しています。平成26年3月末時点では26.3%となっており、町民4人に1人が高齢者であることが分かります。また、団塊の世代が75歳に到達する平成37年には、高齢化率が32.1%となる予想で、町民の3人に1人が高齢者となる見込みです。（国立社会保障・人口問題研究所調べ）

町の人口と高齢化率の推移



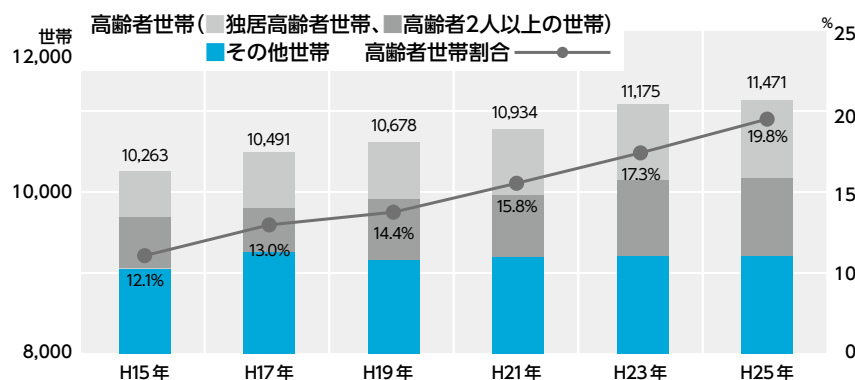
町の人口構成と高齢化率

(単位：人、%)

	H15	H17	H19	H21	H23	H25	(H32)	(H37)
総人口	34,563	34,577	34,423	34,248	34,067	33,830	32,687	31,801
65歳以上	7,268	7,498	7,804	8,054	8,288	8,889	9,908	10,214
65歳未満	27,295	27,079	26,619	26,194	25,779	24,941	22,779	21,587
(参考)75歳以上	3,234	3,490	3,797	4,073	4,373	4,548	4,857	5,601
高齢化率								
町	21.0	21.7	22.7	23.5	24.3	26.3	30.3	32.1
県	23.4	24.5	25.8	26.9	27.2	28.7		
全国	19.0	20.2	21.5	22.7	23.3	26.3		

※高齢化率は、総人口に対する65歳以上者の割合（数値：住民基本台帳 各年度末現在）

町の世帯数と高齢者世帯の推移



※高齢者世帯数割合とは、65歳以上の人だけで構成される世帯のことで、独居も含む
(数値：住民基本台帳各年度末現在)

◎独居高齢者世帯が急増しています

町内の総世帯数は、年々増加しており、平成25年度末現在の高齢者世帯数は、前年度と比較すると163世帯増加し、2276世帯となっています。総世帯に占める高齢者世帯割合は毎年約1パーセント増加しています。また、独居高齢者世帯は1253世帯で、高齢者世帯数の過半数を上回っており、こちらも著しく増加しています。

◎各地区の高齢化率の現状

町内9地区のうち、日詰、古館、赤石地区以外は、平成25年度末現在ですでに高齢化率が30%を超えています。（下表参照）

◎町内の認知症高齢者数

町は、要介護認定を行う際に、認知症の有無を大まかに判定する「認知症高齢者の生活自立度」を調査します。調査で重症度がⅡ以上の場合、認知症がある判断されます。平成25年度には、要介護認定申請者1406人のうち、74.4%（1046人）が何らかの認知症を有すると認められました。そのうち約6割は在宅で暮らしている人たちが、周りの人の見守りが大切です。

地区別の人口構成と高齢化率

地	区	日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	長岡
人	口	6,437	8,928	1,941	3,893	6,791	1,979	1,080	1,228	1,553
65歳以上		1,405	1,844	672	1,361	1,660	622	382	417	526
高齢化率 (%)		21.83	20.65	34.62	34.96	24.44	31.43	35.37	33.96	33.87
独居高齢者世帯		273	273	53	153	273	73	51	41	63
高齢者2人以上の世帯		203	268	65	107	207	67	37	25	44

(数値：住民基本台帳 平成26年3月末現在)



高齢者を見守り支え合う取り組み

「みまもってねット」

「みまもってねット」は、高齢者が安心して暮らし続けられるよう、地域の皆さんと行政などの関係機関が協力して、地域全体で高齢者を優しく見守り支え合っていくネットワークです。昨年3月から始まった取り組みで、現在33の事業所に登録いただいています。



イメージキャラクター
みまこ

見守り



地域の見守り隊

- 地区住民
- 民生児童委員
- 自治会・区長・婦人会
- 老人クラブ
- ボランティア連絡協議会
- 保健推進員
- 地区公民館
- 警察署
- 消防署
- 介護サービス事業者
- 社会福祉協議会 など

情報提供



本人

見守り

確認・支援



紫波町
地域包括支援センター
(保健センター内)



みまもってねットポスター

認知症って、どんな症状？

認知症は、老いに伴う脳の症状のひとつです。記憶障害に加えて、ものごとの判断を正しくできなくなり、暮らしの中で段取りをつけてものごとを進めることができない状態をいいます。この症状のため、日常生活に手助けがいる状況になります。

皆さんも、高齢者を温かく見守っていきませんか

ご近所にお住まいの高齢者について、日常生活の中で心配なことや気がかりなことがある場合には、「地域包括支援センター」にご連絡ください。その人が必要としている支援が受けられるように関係機関におつなぎします。

事業所の見守り隊

- 医師会・歯科医師会
- タクシー会社
- ガソリンスタンド
- ガス・水道事業所
- 新聞配達業者
- 郵便局・金融機関
- コンビニ・スーパー
- 薬局
- 農協

町の各課
・
町内の
ケアマネジャー

こんな時は連絡をください

- ① 新聞や郵便物がポストにたまっている。
 - ② 夜になると、いつもならついているはずの明かりがつかない。（そのような日が何日も続いている）
 - ③ 不自然な服装のまま外出している。（ちぐはぐな服装、洋服の汚れが目立つなど）
 - ④ つじつまが合わないことを言う。または、何度も同じことを言う。
 - ⑤ 顔や体に不自然なアザがある。長時間、外にたたずんでいる。
- 「いつもと様子が違う…」「どうしたのかな？」という小さな気づきが大切です。

みまこの声かけポイント



★声をかける時は、なるべく1人で

・数人で取り囲んだりすると恐怖心や警戒心を持たれます。

★後ろから声をかけない

- ・相手の視野に入ってから声をかける。驚かせないこと。
- ・声かけのきっかけに「こんにちは。何かお困りですか？」「何か手伝いますか？」と問いかけてみる。

★相手のペースに合わせ、ゆっくり対応

- ・穏やかに、分かりやすい簡潔な言葉で話す。
- ・早口や大声でまくしたてない。急がせないこと。
- ・相手の反応をうかがいながら会話すること。

「どうしても声をかけづらい。でも心配だ…。」という場合は無理をしないでください。そして、**地域包括支援センター**まで情報提供をお願いします。

【連絡先】

地域包括支援センター（保健センター内） ☎671-1101

紫波警察署 ☎671-0110

※緊急の場合は、直接紫波警察署に連絡をお願いします。

情報提供

連携

町と事業所は、「みまもってねット」の事業協力・連携のために事業協定を結んでいます。事業所は、高齢者の異変またはその恐れがある場合に、早期に適切な関連機関につなぎ、高齢者が地域で安心して自立した暮らしが継続できるよう支援します。



連携事業所には
今後「みまこステッカー」が
提示されます。

一人の人を大勢が見守ることに 重要な意義があります



紫波町民生児童委員協議会長
石亀孝文さん

「みまもってねット」の役割には、

重要な意義があります。それは、「一人の人を一人が見守るのではなくて、一人の人を大勢が見守ること」です。これまでにない地域で支える仕組みづくりに期待しています。

私たち民生児童委員は、これまで、通常の役割として地域の高齢者の見守りを行ってきました。それぞれの地区ごとに地域の特性がある

ので、地区ごとに民生児童委員の活動は違ってきます。今後「みまもってねット」は、町外も含めた広域の活動へと視野を広げる場合もあるでしょう。その際に必要なのが関係機関との情報の共有です。地域連携を充実したものにするには、個人情報保護の守秘義務との兼ね合いをどうするべきなのか考えなければなりません。

また、地域事業所の協力が大きな力になりますが、事業所は地域の民生児童委員が誰なのかをあらかじめ知っておくこともよいでしょう。地区内の住民情報を把握している民生児童委員に情報をつなぐことで、関係機関との連携が迅速に進めることができます。

民生児童委員の活動に役立つネットワークとして、そして地域連携の強力なモデルとして「みまもってねット」が成長することを願っています。

※民生児童委員は、民生委員法に基づいて、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。また、児童福祉法に定める児童委員も兼ねています。ボランティアとして無報酬で活動しています。

目的が無くても誰でも自由に 集まれる場があるといいですね



盛岡信用金庫紫波支店長
佐々木友孝さん

私たちは地域のお客様と接するのが仕事ですから、日頃から高齢者の皆さんとはお付き合いがあります。特に、直接お客様の自宅や事業所へ出向く地区担当者は、常に地域の情報に敏感です。高齢者世帯をさりげなく見守ることも可能です。職員の中には、認知症のサポーター養成

講座を受けた者もおりますので、お客様の变化に気づくこと、ライフサイクルの変化に気づくことなど、日常の心がけが「みまもってねット」の取り組みに生かされることが多いと感じています。大切なのは、思いやる気持ちを持つことだと思えます。今後、業務時間のなかで、どのように「みまもってねット」に関わっていくのがよいのか検討したいと思っています。

私にひとつの提案があるので、講座を受けた者もおりますので、お客様の变化に気づくこと、ライフサイクルの変化に気づくことなど、日常の心がけが「みまもってねット」の取り組みに生かされることが多いと感じています。大切なのは、思いやる気持ちを持つことだと思えます。今後、業務時間のなかで、どのように「みまもってねット」に関わっていくのがよいのか検討したいと思っています。

が、地域のなかに、いつでも誰でも自由に集まることができる場があるというのではないのでしょうか。何かをするためにという目的も無く、ふらりと立ち寄れる場所です。集会所や公民館のような、しっかりした施設である必要はないと思います。優しく、さりげなく、いつも高齢者を見守ることのできる場が生まれると思うのです。



高齢者の ゆるやかな コミュニティ の場

●なんバザ・ホール

日詰商店街の中ほどにある「なんバザ・ホール」は、高齢者が集う人気のスポットです。すこやか号のバス停が近いので、昼時ともなると待合室を兼ねた社交場に。高齢者だけでなく小さいお子さんを連れのお母さんなども訪れるこの場所は、人々が気軽に世代を超えた交流を楽しむ場にもなっています。

スタッフの皆さんは「お店にはいつも5～6人のスタッフがいますので、高齢者の人が困っている時や、具合が悪そうな時には、誰かが気付いて声をかけてお手伝いをしています。地域を分かっているからできるサポートを、これからも続けていきたいと思っています」と和やかに話していました。

日常で生活しているなかで そつと見守るといふ姿勢を大事に



地域包括支援センター長(長寿健康課長)
高野 修さん

かつて高齢者の徘徊^{はいかい}については、登録していただいた人が徘徊した場

合に、警察や消防署、消防団員などで捜索していました。しかし、地域の急激な高齢化によって、登録していない人の徘徊が表面化するようになり、これまでの方法では、高齢者の見守りは困難だという状況を迎えていました。その状況を解決するために誕生したのが「みまもってねット」です。

昨年3月に始まったばかりの取り

組みなので、試行錯誤が続いています。が、ネットワークの連携による具体的な活動の手法は、関係機関と折られて協議を進めている段階です。

「みまもってねット」では、日常生活の中で、そつと見守るといふ姿勢を大事にしています。見守る側にも見守られる側にも負担にならない、優しい見守りの手法を実践したいと考えています。

活動が始まったばかりの取り組みですので、「みまもってねット」というものがあるのだと多くの皆さんに知っていただく必要があります。



「みまもってねット」がスタートし、1年余りが経過しました。これまでに、民生児童委員・老人クラブ・女性団体などの地域の見守り隊のほか、医療機関・金融機関・ガソリンスタンド・コンビニ・新聞配達業者などの町内事業所33社から賛同をいただいています。

地域(事業所)の見守り隊の方々からは、町民の体調不良などに関わる相談や、認知症に伴う相談などが寄せられており、必要に応じて関係者と連携して支援をしています。

今回の特集をご覧になり、「みまもってねット」事業に賛同いただける事業所がありましたら、職員が改めて事業説明に伺いますので、地域包括支援センターまで連絡をお願いします。

また、今後さらにこの事業が地域に浸透し、さりげない見守りの中で安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと考えていますので、町の皆さんのご協力をお願いします。

■問合せ 地域包括支援センター(保健センター内) ☎(671)1101

地区で行う勉強会やサポーター養成講座などを開いて、紫波町独自の見守りネットワークをつくりましょうと協力を呼びかけています。

高齢者の皆さんすべてに見守りが必要だということではないのです。高齢者が高齢者を見守ることだってあっていいし、できると思っています。地域の中で情報をどのように共有するかが課題ですね。

高齢者と接する機会の多い協力事業所の皆さんには、「みまもってねット」の重要な役割を担っていただき感謝しています。

紫波型エコハウスサポートセンターがオープンします

6/29
sun

町が分譲している住宅地「オガールタウン日詰二十一区」に、紫波型エコハウスサポートセンターがオープンします。同センターは紫波型エコハウスのモデルハウスを兼ねており、内部をいつでも見学できます。

当日は、開所式の後、住まいづくりセミナーとして、同センターの設計者竹内昌義さんの解説による完成見学会を開催します。高断熱・高気密でエネルギー効率の良いエコハウスの心地良さを体感しに、ぜひ会場へお出かけください。



■日 時 6月29日(日) 午前10時30分～正午

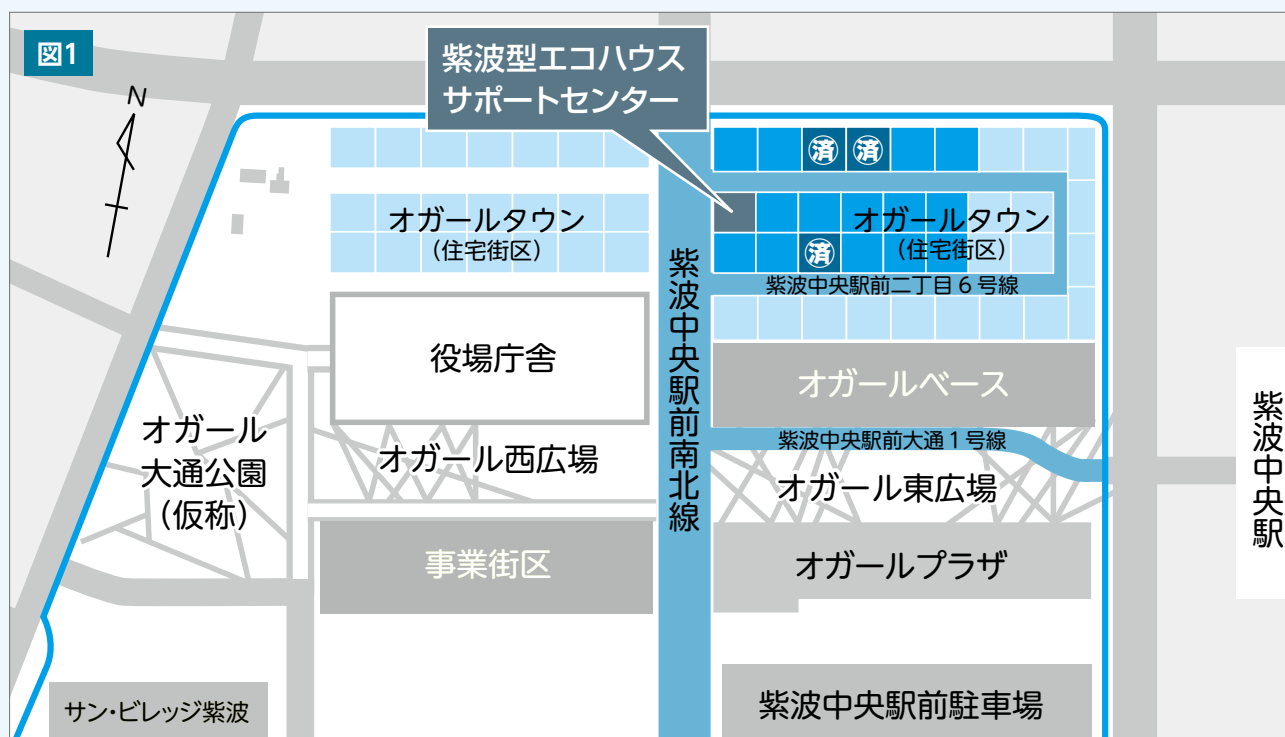
■会 場 紫波型エコハウスサポートセンター (オガールタウン内) ※図1参照

■内 容 午前10時30分～開所式／午前10時50分～完成見学会

※自動車でご来場の方は、紫波中央駅前駐車場または紫波中央駅東駐車場をご利用ください。

■見学会・分譲に関する問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2111(内線3252) ✉shiwa-ppp@town.shiwa.iwate.jp

■サポートセンターに関する問合せ 環境課 循環政策室 ☎672-2111(内線3512) ✉kankyo@town.shiwa.iwate.jp



紫波中央駅前南北線、紫波中央駅前二丁目6号線も6月29日(日)から供用開始

これまで南側から「紫波中央駅前大通1号線」まで開通していた「紫波中央駅前南北線」の北側の区間と、オガールタウン内の南北線東側をコの字に走る「紫波中央駅前二丁目6号線」を6月29日(日)に供用開始します。

役場新庁舎やオガールベースが建設中で、工事車両が出入りしています。交通安全に注意してご利用ください。

【問合せ】 都市計画課 都市整備室 ☎672-2111(内線5231) ✉toshikei@town.shiwa.iwate.jp

町は5月11日、「紫波型エコハウス」について、より理解を深めてもらおうと、第2回住まいづくりセミナーを開催しました。情報交流館で行われた「オガールタウンシンポジウム」には、約50人が参加。紫波型エコハウスサポートセンターのモデルハウス設計者である竹内昌義さん、相羽建設株式会社常務取締役である迎川利夫さん、オガールタウン調整会議委員長を務めている清水義次さんの3人が、建築や経済などの観点からエコハウスの真価やまち並みの重要性について見識を述べました。その後、建設中の紫波型エコハウスサポートセンターの現場に会場を移し、実際に気密を高めるシートや断熱材が施されている様子の見学会も行われました。

「本当に価値のある住宅」とは？



「長く住み続けられる住宅には、耐久性はもちろん、設備の手入れのしやすさも必要」など意見を交わす(左から)迎川さん、竹内さん、清水さん

「夜のとしょかん」が始まりました

町は5月29日、新たな試みとして、日中図書館を利用できない方々にも図書館を身近に感じてもらうようにと、参加型トークイベント「夜のとしょかん」を開催しました。ランタンが灯された図書館に、県内外から約70人が訪れ、ゲストスピーカーである(一社)しわ・まちコーディネイト代表理事の河野和広さんのお話に耳を傾けました。河野さんは、食品表示に隠されている遺伝子組み換え食品の危険性などについて講演。家族4人で参加した杉渕明尚さんは「独特の雰囲気の中で、普段は聞けないお話を聞き、色々と考えさせられました。これから夏休みも始まるので、子ども向けの「夜のとしょかん」もあればいいなと思います」と期待していました。次回は8月1日(金)に開催する予定です。



普段は閲覧スペースの場所で開催されたトークイベント



「マルシェは新鮮な野菜があるところが魅力。商品券は、お刺身など夕飯の買い物に使いたいです」と笑顔を見せた藤沼さん親子と佐々木代表取締役(右)

**紫波マルシェの来場者が
50万人を達成**

オガールプラザの西棟にある産直「紫波マルシェ」で5月22日、レジ通過者数が50万人に達したことを祝い、記念行事が行われました。50万人目は、古館にお住まいの藤沼郁恵さんと紗世ちゃん、航世くん親子。同産直を運営するオガール紫波(株)の佐々木廣代表取締役から、同産直で使える1万円分の商品券が手渡されました。佐々木代表取締役は「当初の予想よりも早く50万人に到達することができました。今後は、ますますお客様に楽しんでもらえるようなイベントや企画を考えていくとともに、町内10カ所の産直の連携や地産地消の推進などのコーディネーター役を担える産直を目指したいです」と新たな目標を見据えていました。同産直は平成23年にオープン以来、売上、客数ともに増加しており、昨年6月から今年5月までの1年間の売り上げは約4億円。現在、従業員数は16人、出荷会員数は284人です。



活動に参加した皆さん。暑い中、お疲れ様でした！



斜面に一列に並び協力して苗木を運び参加者

波のくに紫環

町の豊かな自然を守り、育てる 「紫波企業の森づくり」活動 が進んでいます

ホームマック(株)の活動が 今年から始まりました

紫波フルーツパーク内の町有林で5月14日、ホームマック(株)による活動が行われました。この活動は、「日頃からお世話になっている地域へ少しでも貢献できれば」という同社の申し出により、(社)紫波町農林公社と紫波フルーツパーク、町の4者が新たに協定を結んで実現したものです。この日は、盛岡市、矢巾町、紫波町の店舗に勤める社員約30人のほか関係者が参加し、木々のすこやかな成長を願いながら2047㎡の土地にブナやケヤキ、ヤマザクラなど8種240本の苗木を植え付けました。活動は、今後5年間継続して行われる予定です。



新たなスタートに意欲を新たにする(左から)浅沼頭取、みらい研究所の阿部理事長、熊谷町長

東北銀行は、新たな 5年の活動をスタート

町は5月19日、平成21年度から5年間活動に取り組んできた(株)東北銀行と、再び協定を締結しました。協定締結式は、同行とコーディネーター役のNPO紫波みらい研究所、町の三者で、盛岡市内の東北銀行本店で行われました。同行は、本年度から平成30年度までの5年間、紫波フルーツパーク付近の山林を活動場所として、間伐や下草刈り、植樹活動を実施する計画です。

町は、豊かな自然を後世に残すため「循環型まちづくり」を進めており、平成20年からは、企業、町、地域が結びつき多面的な効果を得られる「企業の森づくり」による森林整備に取り組みます。本年度の活動状況などについてお知らせします。



TOTO東北販売と 情報労連が森の 手入れをしました

本年度の
活動が始まっ
ています

「紫波企業の森づくり協定」を締結している9団体のうち、TOTO東北販売(株)と情報産業労働組合連合会岩手県協議会(以下、情報労連)の活動が5月に相次いで行われました。

TOTO東北販売(株)は5月17日、長岡地域の林地を活動場所として、コナラの植樹、下草刈りなどの作業を実施。また、情報労連は5月24日、水分地区の森林において、事前に伐採した間伐材を集積する作業を行いました。



今後の活動として、6月14日には盛岡信用金庫、同月28日には藤村商会在間伐の集積活動が予定されています。

町の自然環境や生活環境を知りたい人、環境を守る活動に興味のある人

環境マイスターになりませんか

～環境マイスター養成講座の受講生募集～

町は、100年後の子どもたちに良好な環境を引き継ぐことを目的とし、町の皆さんと共に「循環型まちづくり」を進めています。この目的を達成するため、身近な環境を評価するとともに地域での環境保全活動の水先案内人としての役割を担っていただく「環境マイスター」を養成しています。これまでに153人の町の皆さんが環境マイスターとして認定を受け、地域や学校などで保全活動や啓発活動をしています。

今年も7月から12月までの間に7回の養成講座を開きます。環境に関する基礎的知識や評価の方法などについて、多彩な講師陣による講義を予定しています。自然環境、生活環境について興味のある人、環境を守る活動に関心のある人などの応募をお待ちしています。



募集要項

◆**目的** 環境保全活動の推進、環境保全意識の高揚を図るため、地域の自然環境、生活環境を評価するとともに環境保全活動のリーダーとなる人材を養成するものです。

◆**日程・主な内容** (日程・内容とも変更の場合あり)

第1回・開講式

7月12日(土) 水生生物の調査実習

第2回 7月26日(土) 町内木造施設の見学

第3回 8月23日(土) 循環型まちづくりの講義

第4回 9月27日(土)

廃棄物とリサイクルの講義・施設見学

第5回 10月25日(土)

エネルギーと地球温暖化の講義

第6回 11月15日(土) 地元学、自然環境の講義

第7回・閉講式

12月13日(土) 救命講習、今後の活動

※簡易な実習や施設見学もあります。

講義は午前10時から午後3時までです。(講義内容によって異なる場合があります)

◆**応募資格** 次のすべての要件を満たす人

①平成26年度内に満16歳以上となる人

②町内に在住・在勤・在学しており、地域において環境学習や環境保全のための活動を行うことができる人、あるいは活動してみたいと考えている人

③原則として、全7回の講座を受講できる人

◆**募集人員** 20人程度

◆**受講料** 無料

◆**応募方法** 住所／氏名／年齢／性別／連絡先を電話またはファクシミリ、電子メールでお伝えください

◆**募集期間** 6月26日(木) まで

◆**応募・問合せ**

NPO法人紫波みらい研究所

☎671-2244 FAX 671-2243

✉mirai@shiwa-mirai.com

環境課 循環政策室

☎672-2111 FAX 672-2311

内線3513・3514

✉kankyo@town.shiwa.iwate.jp

※講座運営の一部をNPO法人紫波みらい研究所に委託しています。



やってみよう! 段ボールコンポスト

環のくに
紫波

新緑の季節になり、野菜作りやガーデニングを始めた人もいらっしゃるのではないのでしょうか。町は、ご家庭で生ごみを堆肥化し、ごみの減量などに役立てられる「段ボールコンポスト」を推奨しています。

段ボールコンポストの作り方

(1)用意するもの

- 容器 厚手の段ボール箱1個(縦30cm×横45cm×高さ30cm程度)
- 基材 ピートモス(14~15ℓ)、もみ殻くんたん(9ℓ)、米ぬか(1ℓ)、えこ3堆肥(0.1ℓ程度)
- 箱の底に敷く下敷き用の段ボール

(2)置き場所

通気性が良く、雨の当たらないところ

(3)作り方

- ①段ボール箱の底から基材が出ないように隙間をガムテープでふさぐ。
- ②箱の底に中から下敷き用の段ボールを敷き、基材を入れ、シャベルなどでよくかき混ぜる。

※1日に約500gを目安として、約3カ月間生ごみを投入できます。

(4)成功のポイント

- ①毎日、必ずよくかき混ぜる。
- ②保温・防虫・防臭のため、バスタオルなど通気性の良いものでフタをする。

段ボールコンポストってなに?

家庭から出る生ごみをピートモスなどの基材とともに段ボール箱に入れて、その中で減量・堆肥化を行うことです。好気性発酵(※)なので、生ごみ特有の嫌な臭いはありません。

町内では、平成22年度から紫波町

ごみ減量女性会議が中心となり、環境関連団体と連携して普及活動をしています。同会議は、すぐ始めることができるように、ダンボールと基材、シャベルを1セットにした「段ボールコンポストキット」を800円で販売しています。

また、町は、この段ボールコンポストキットを購入された人に「紫波エコbeeクーポン券」(1基ごとに500ポイントで、1年度につき1世帯4基まで)を交付しています。

※好気性発酵とは、空気のある状態で活動する微生物の働きにより、有機物を分解し、発酵させること。

段ボールコンポストキット取り扱い場所

紫波みらい研究所(紫波中央駅舎北側)、環境課

問合せ

段ボールコンポストに関すること
環境課 生活環境室 ☎672-2111(内線3523)
紫波エコbeeクーポン券の交付に関すること
環境課 循環政策室 ☎672-2111(内線3515)

アメリカシロヒトリの防除について

幼虫の状態別の防除方法

幼虫が巣から出ていない場合

ハサミなどで巣ごと枝葉を切り、焼却する。または、切り取った枝葉をビニール袋に入れてしっかりと縛り、燃やせるごみとして出す。

幼虫が巣から出て分散している場合

殺虫剤などによる薬剤散布を行う。
※薬剤については、農協やホームセンターなどにお尋ねください。

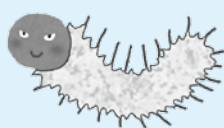
※アメリカシロヒトリ自体は毒を持っていませんが、毛でアレルギー反応を起こす場合があります。

アメリカシロヒトリは、幼虫期にサクラ、クルミなどの広葉樹の葉を食い荒す「緑の大敵」です。毎年6月ごろから9月中旬にかけて発生します。樹木を守るには、早期防除が大切です。発生が見られたら、直ちに防除をお願いします。

防除用動力噴霧器を貸出中です

町は、アメリカシロヒトリを防除するための動力噴霧器を貸し出しています。薬剤は利用者でのご用意をお願いします。利用を希望する人は、事前に問い合わせください。

防除は、樹木の所有者の責任であり、町では町有地以外(道路、公園など)の防除は行っていません。各お宅で防除できない場合は、造園業者に依頼するなどして、自己負担での防除をお願いします。



【問合せ】環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線3521~3523 有線01-8972

平成26年度市民参加の実施予定をお知らせします

町は、平成26年度に、以下の事項について市民参加を実施します。これは、町の基本的な方針や計画、公共施設などをつくる際や、広く町の皆さんに適用され、その生活に重大な影響を及ぼす制度などをつくるなど、皆さんの意見を聞くために実施するものです。



平成26年度 市民参加予定

市民参加する事項	対象事項の概要	市民参加の方法 (審議会等は名称)	実施予定時期	担当 部署
農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	平成25年に農業経営基盤強化促進法が改正されたことに伴い、農地中間管理機構および認定新規就農者に関する事項を新たに構想に盛り込む必要が生じたための変更。	意見交換会	6～7月	農林課
		意見公募	6～7月	
		農政審議会	8月	
紫波町障害福祉プラン	障害福祉の方向性を定める中長期的な計画と、障害福祉サービス量などの提供見込を定める計画。今回は、障害福祉サービス量などの計画部分の見直し。	アンケート	9月	福祉課
		意見公募	平成27年1月	
		障害者計画策定委員会	12月～平成27年2月	
第二次紫波町総合計画後期基本計画	第二次総合計画の「後期基本計画」(平成28年度から平成32年度まで)を、平成26年度から2力年をかけて策定。	紫波町総合計画審議会	平成27年2月～平成27年12月	企画課

【問合せ】企画課 協働支援室 ☎672-2111 (内線3241)

農業委員会委員

一般選挙が行われます

■告示日(立候補届出受付日) 7月1日(火)

・受付時間 午前8時30分～午後5時

・受付場所

役場第1会議室(役場本庁舎2階)

■選挙期日(投票日) 7月6日(日)

・投票時間 午前7時～午後6時

・投票所は、告示日以降に郵送する予定の投票所入場券はがきに記載されておりますので、ご確認ください。

※立候補者の数が選挙すべき定数を超えない時は、投票は行われません。その場合、投票所入場券はがきは郵送されません。

■投票できる人 平成26年1月に「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」を提出され、同名簿に登録された人

■期日前投票 投票日に投票所に行けない人は、期日前投票ができます。

・期間 7月2日(水)～5日(土)

・時間 午前8時30分～午後8時

・場所 役場第5会議室(旧紫波郡役所)

■問合せ 選挙管理委員会事務局

☎(672) 2111 内線3191

乳がんの知識

～検診・自己チェックで早期発見～



健やか
ランド紫波
健康と福祉の情報
コーナー

■目で見てチェック

- ①鏡の前に自然な状態で立ち、両方の乳房に違和感がないかよく観察します。
- ②両手を上下し、正面・側面・斜めなどから乳房をよく観察します。
 - ・形、大きさ、乳房の高さに違いはないか
 - ・乳房の皮膚の一部や乳頭にへこみ、ひきつれはないか
 - ・乳頭にかさぶたやただれがないか



① ■触ってチェック

- ①腕を上げ、指の腹で乳房の内側を軽く圧迫して、まんべんなく触れて調べます。
- ②腕を自然な位置に下げ、指の腹で乳房の外側をまんべんなく触れて調べます。
- ③脇の下もリンパ腺が腫れていないか調べます。両方の乳房を①～③の方法で調べます。
- ④左右の乳首を軽くつまみ、血や分泌物が出ないか調べます。



乳がんは、痛みなどの初期症状がほとんどありません。日頃から乳房の状態を把握しておくことが大切です。定期的に自己チェックをして自分の乳房の状態を知っておけば、小さな変化や異常に気が付きやすくなります。チェック日を決めて月に1度行いましょう。乳腺が最も安静な時期である、月経が終わって1週間以内がおおすすめです。閉経後は、毎月1日など覚えやすい日に決めて行いましょう。

月1回の自己チェックで早期発見

乳がんにかかる人は年々増え続け、日本人女性が生涯で乳がんにかかる確率は約15人に1人といわれています。乳がんは最も多くの女性がかかるがんです。発症は30代から増え始め、40代から60代の人が多くなっています。

乳がんのリスクを減らす生活習慣

○お酒は適量に

飲酒習慣で乳がんになるリスクが高まります。お酒を飲むなら適量（女性の場合は1日にビール中びん1本程度）を心がけ、週に2日以上は休肝日を設けましょう。

○適度な運動で、肥満を予防

運動には、乳がんの予防効果があることが分かっています。また、閉経後の肥満は、乳がんのリスクを高めるので、肥満の予防・解消のためにも適度に運動しましょう。

○自分だけでなく家族も禁煙する

たばこには何種類もの有害物質が含まれ、がんとも関連しています。自分が禁煙するのはもちろん、家族も一緒に禁煙に取り組みしましょう。

定期的にがん検診を受けましょう！

乳がんは早期発見・早期治療で、完治する確率が高まります。国は40歳以上を対象に2年に1回、乳がん検診を受けることを推奨しています。町は、次のとおり婦人検診を実施しますので、対象の人は受診してください。

■対象 平成27年3月31日現在で満年齢が奇数歳の人

※対象者には、婦人検診受診券を既に配布しています。

■日程 6月20日（金）～7月1日（火）
午前9時～11時

■検診内容

名 称	年 齢	検診内容	料 金
子宮がん検診	20歳以上	細胞検診	1000円
乳がん検診	40～64歳	乳房X線撮影2方向	1000円
	65歳以上	乳房X線撮影1方向	
骨粗しょう症予防検診	40～69歳	かかとの骨の超音波検査	500円

福祉と健康
すこやか情報室からだよろこぶ
ヘルシーレシピアスパラとトマトの
前菜

長寿健康課 佐々木栄養士のレシピです

材料(4人分)

アスパラガス……………4本 固形スープのもと……………1個
ミニトマト……………4個 塩……………少々
コーンの缶詰……………大さじ1 粉ゼラチン……………小さじ2
水……………1カップ

- ❶ アスパラガスはゆでて1cmくらいの長さに切る。太い時は縦半分に切る。
- ❷ ミニトマトはヘタを取り除き4つ切りにする。
- ❸ 小さな鍋に水1カップと固形スープの素を入れ、火にかける。
- ❹ ❸が煮立ったら、塩をふって火を止め、粉ゼラチンを入れ、よく混ぜ合わせて溶かす。
- ❺ ❹の粗熱がとれたら、平らな容器に流し入れて冷蔵庫で冷やし固める。
- ❻ ❺が固まったら、フォークなどで粗くくずし、❶、❷、コーンの缶詰とあえる。

●ポイント

アスパラガスの他にもブロッコリーやさやいんげんなど、他の野菜を使って作ることもできます。彩りがきれいなので、おもてなしの1品にもおすすめです。

ニート・ひきこもりとは？

皆さんは「ニート」や「ひきこもり」という言葉をご存知ですか。これらは、病名や障害を表す言葉ではなく、「長期間仕事に就かない」「社会との関わりを持とうとしない」などの状態を表す言葉です。それぞれが抱えている困難や、不安、障害、状況などに関係なく、まとめて「ニート」や「ひきこもり」と呼んでいます。

現在、全国のニート状態にある若者は、60万人とも100万人ともいわれています。平成22年の国の発表では、ひきこもり予備軍が70万人いるという発表もありました。

結果を見ると、ニートと呼ばれる状態の若者の実に9割が「働きたい」と考えていることが分かっています。さまざまな理由から「働きたいけど、働けないでいる若者」というのがニートの若者の実態です。

そのため、「働け！自立しろ！」と強く言い立てても、その働けない理由となつていく困難や不安を解決、あるいは軽減しないと、なかなか就職するのは難しく、就いたとしても長く続けられません。また、無理をさせれば、さらに不安を大きくして状況が悪化してしまう可能性もあります。

また、いい年をした若者が仕事をしないで家にいることに、後ろめたさや世間体の悪さを感じ、相談に行くことも、なかなか勇気が必要だと思われるかもしれません。

しかし、現在の若者たちと就職を取り巻く環境は、親の世代が考えるよりもずっと複雑になつていて、本人や家族の力だけでは簡単に解決できない状況にあります。ご家庭だけで抱え込まずに、まずは支援機関にご相談ください。

また、県央保健所では、本人やご家族からの相談を随時受け付けており、ニートやひきこもりの人がいる家族を対象とした家族教室も開いています。次回は6月17日（火）に開催されますので、問い合わせの上、お出かけください。

【問合せ】福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1523
県央保健所 児童障がい福祉課 ☎629-6574

水面にきらめく姿を映し 星山小で田植え体験

星山小学校（畠山博明校長）の5・6年生11人は5月19日、学校の東側にある工藤信悦さんの田んぼの一角で、田植え体験を行いました。澄み切った青空の下、裸足で田んぼの中に入った児童たちは、JAいわて中央から提供を受けた3箱分の苗を丁寧に植えつけました。「泥は冷たかったけど、たくさん植えることができて楽しかったです。苗が大きくなって、おいしいお米に育つのが楽しみです」と6年生の作山伽羅くん。秋には、収穫と脱穀体験、11月の収穫祭では餅振る舞いが予定されています。



泥の感触に歓声を上げながら、苗の植え付けに精を出す児童たち

40年以上続く早起き野球 今年も開幕



「けがなく、楽しく、最後までプレーすることを誓います」と宣誓する長岡体協の横沢晋史主将

雲一つない五月晴れとなった5月11日の早朝、運動公園野球場で、紫波町早起き野球大会（作山秀一会長）の開会式が行われました。同大会は、職場対抗野球を前身に、昭和46年から開催されている伝統ある大会です。この日は、今年参加する6チームの選手など約50人が参加。9月に開催される県大会への出場権をかけて、8月まで続くリーグ戦での健闘を誓いました。

育てた農産物を生徒が直売 紫波総合高校

紫波総合高等学校（田中耕之助校長）の農場（二日町）で5月20日、直売所「かしの里」の本年度の営業が開始されました。販売は、昨年9月末に始まり、今年で2年目。エコロジー・フード系列の3年生38人が、交代で店頭に立ち、育てた野菜や果物、加工品などの販売をとおして6次産業化を学びます。「お客さんに気持ちよく買っていただけるよう、大きな声と笑顔で販売します」と吉田みつ子さん。営業は、前期が6月10日まで、後期は8月下旬から始まり、基本的に毎週火・木曜日の午前11時から午後1時までが営業時間です。詳しくは同校農場（☎676・6141）まで問い合わせください。



精魂込めて育てた苗を販売する生徒たち

オガールの花壇に今年も華やぎ



優しい手つきで花を植える生徒たち

紫波総合高等学校のエコロジ・フー
ド系列で草花について学んでいる3年生
9人の生徒は、5月27日、オガールプラ
ザの北側の広場にある花壇に、自分たち
の手で育てた花苗を植えました。この取
り組みは、昨年に続き2年目。生徒た
ちは、あらかじめスコップでほぐし肥料
を入れておいた土に、約160本のピン
ク色と赤色のインパチェンスを、花壇に
沿って丁寧に植えました。菊池彰胤さん
は「土を耕すのが一番大変でした。地域の
人や遠くから訪れた人たちに、『きれい
だな』と思ってもらえればうれしいです」
と、充実した表情で植え終えた花壇を眺
めていました。



キリシタンが祈るために集った「三沢」と呼ばれた場所で、
山下会長(右)から説明を受ける参加者

キリシタンの墓に刻まれた「南無阿弥陀仏」の文字を
のぞきこむ参加者。「南」の十字部分が強調されている



新緑の中、 隠れ切支丹の 歴史ロマンに触れる

北日詰から訪れた坂本
真紀さんは「実際に史跡
をたどってみて、キリシ
タンの人たちの信仰心の
強さや覚悟などが感じら
れました」と語り、山下
会長は「秋の開催までに
は、別の道を探すなどし
て、なんとか他のコース
も復活させたいです。ま
た、秋に行われる町民劇
場では、佐比内金山が舞
台になっているので、そ
ちらも注目してもらえれば」と
期待していました。

佐比内山ひだの会(山
下研悦会長)は5月24日、
昨年の8月9日の大雨災
害以来、初めてとなる佐
比内トレッキングを開催
しました。3コースのう
ち2コースが昨年の大雨
の影響で大きな被害を受
けたため、今回は里山を
めぐるコースのみでの実
施。町内外から参加した
約50人は、400年ほど
前に金の採掘で栄えた佐
比内金山跡や、隠れキリ
シタンの史跡を巡りなが
ら、里山の散策を楽しみ
ました。



友達と協力しながら、1畝に2列、25センチの間隔で
種芋を植えた生徒たち

一中生がジャガイモを植えつけ

最高気温が30度を超えた5月
29日、紫波第一中学校(田口秀一
校長)の2年生254人が、南日
詰にある約30アールの畑で、ジャ
ガイモの植えつけ体験を行いま
した。(有)高橋農産(高橋信社長)
の協力を得て行われており、今
年で3年目の取り組み。生徒たち
は、班ごとに分かれ、約7500
個の種芋を丁寧に植えつけまし
た。東山日菜子さんは「普段は
あまり土に触る機会がないので、
とても楽しかったです。8月の収
穫の時にはたくさん収穫できる
ように育ててほしいです」と豊作
を願っていました。

催し

教科書の展示会

広く一般の方々に教科書を見てもらおうと平成27年度に使用する教科書の展示会が開かれます。小学校用は平成27年度に新たに発行されるもの、中学校用、高校用は現在使用されているものが展示されます。

■期間 6月13日(金)～7月8日(火)

(火)金：午前9時～午後6時／土、日：午前9時～午後5時／月：休館日

■会場 盛岡市立都南図書館(盛岡市永井)

■問合せ 学務課 学務室

☎(672)33362

親子わらべうたであそぼう会

わらべうたに合わせて親子で楽しくゆったり遊ぶ会です。動きやすい服装でお出かけください。(ミニお話会もあります)

■日時 6月23日(月)

午前10時30分～11時30分

■会場 中央公民館2階 和室

■問合せ おはなしの森 菅原

☎(673)6291

「詐欺…師かもな!?」セミナー

架空請求詐欺についてのセミナーが開催されます。講師に紫波警察署員を招き、DVDを上映したり、ボランティアサークル「フワッポット」の寸劇を交えたりしながら分かりやすく学びます。どなたでも参加できますので、申し込みの上お出かけください。■参加無料

■日時 7月3日(木)

午後1時30分～3時

■会場 中央公民館 2階 研修室

■内容 講話「架空請求詐欺の傾向と対策」

■定員 30人

■申込・問合せ 6月30日(月)まで

中央公民館 ☎(672)33372

有線(01)29222

赤沢の新たな魅力発信！

「あじさいまつり」

地区創造会議から生まれた「赤沢まるごと博物館プロジェクト推進委員会」が企画するイベント第2弾。美しいアジサイの花を眺めながら、赤沢の魅力を堪能しませんか。

■日時 7月6日(日)

午前10時～午後4時ごろ

■会場 牛ヶ馬場公民館(赤沢3区・あじさいロード)

■内容

【牛ヶ馬場公民館会場】午前10時開会／午前11時～正午 赤沢神楽／午後1時30分～2時30分 遠山田植踊／午後2時30分～3時30分 カラオケ大会、餅まき／午後4時閉会

【あじさいロード会場】屋台、軽トラ市、釣り堀、チェンソーアート(午前10時～午後3時)

※車でお出かけの際は、赤沢公民館に駐車の上、午前9時から随時運行されるシャトルバスに乗りください。

■問合せ 赤沢まるごと博物館プロジェクト推進委員会

☎(676)30336

元気はつらつウォーク第2弾!!

赤沢あじさいロードウォーク

あじさいまつりを楽しみながら、ウォーキングで健康づくりをしませんか。どなたでも参加でき、初心者大歓迎です。■参加無料

■日時 7月6日(日)

午前9時～11時30分

■コース 赤沢地区 約6km

■集合場所 赤沢公民館

■服装・持ち物

歩きやすい服装・靴、飲み物、タオル、雨具、リュックサックなどのバッグ

■申込・問合せ 長寿健康課 健康推進室

☎(672)45522 有線(01)89991

紫波町生涯学習セミナー
第2回移動研修in県立博物館

企画展「ふるさととは若手 八戸藩の礎となった母と子」を見学します。八戸藩の飛び地を持つ紫波町ゆかりの展示もあります。

■日時 7月8日(火)午前9時～午後3時

■会場 県立博物館(サン・ビレッジ紫波集合、送迎バスで移動)

■定員 町内在住者30人 最少催行人数10人

■参加費 入館料310円(昼食代は参加者負担)

■申込・問合せ 7月1日(火)まで。①住所②氏名③年齢④電話番号を、電話かファクシミリでお伝えください。生涯学習課

(672)33662 FAX(672)15533

募集

町民チャリティゴルフ大会

新山高原の大自然の中で、町の皆さんと親睦を図りながら、ゴルフで体を動かしましょう。参加費の一部は町に寄付されます。

売却物件募集中

土地・建物を売ろうか… 秘密厳守 相談・査定無料

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員
(株)紫波中央不動産
〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ユニバースさんそば)

☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

医療保険適用
在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

・歩行が困難な方
・身体にマヒがある方、不自由がある方
・車椅子使用の方など…
お気軽にお電話ください。
紫波エリア担当 ☎090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.019-656-6776

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

■日時 7月20日(日)
午前7時30分開始(6時30分受付開始)

■会場 岩手ゴルフ倶楽部

■参加資格 町内在住者、町内に勤務している人、町に縁のある人

■会費 参加費3000円(内5000円をチャリティーとする)、プレー代7500円(兼用セルフ、昼食代込。キャディ付きの場合はプラス2500円)

■申込方法 7月5日(土)まで。岩手ゴルフ倶楽部、ナックスサービスカウンターで申し込みください。

■問合せ 紫波町民チャリティーゴルフ大会実行委員会事務局 岩手ゴルフ倶楽部
☎(673)7121 FAX(673)7122

第43回紫波夏まつりを一緒に盛り上げませんか

毎年恒例の夏まつりが今年も開催されます。まつりを盛り上げるイベントに参加したり、スタッフとして加わったりして、楽しい夏の思い出をつくってみませんか。

■開催日 8月3日(日)午後3時～9時

※雨天時は8月4日(月)に花火大会のみ実施

■会場 紫波運動公園

■募集内容

④屋台村募集(1小間3m×3m以内) 町内在住者に限ります。テント、テーブルは各自ご準備ください。

⑤ボランティアスタッフ(企画・準備・運営)募集 個人、グループを問いません。

■申込・問合せ 6月30日(月)まで

(社)紫波町観光交流協会

☎(676)4477 FAX(676)4422

お知らせ

児童手当現況届の提出をお願いします

6月以降の児童手当を受給するためには「児童手当・特例給付 現況届」の提出が必要です。対象者には、あらかじめ用紙を送付していますので、期限までに提出ください。

■提出書類

◎「児童手当・特例給付 現況届」

送付している現況届の印字内容を確認し、受給者氏名欄に押印してください。

◎受給者の健康保険証の写しまたは年金加入証明書

◎このほかにも書類が必要な場合があります。詳しくは送付している通知でご確認ください。

■提出・問合せ 6月30日(月)まで 福祉課
こども室 ☎(672)2111 内線1531

中小企業の事業主の皆さんへ 業務改善助成金のお知らせ

厚生労働省は、最低賃金引き上げ支援対策として「業務改善助成金」(最高100万円、下限5万円)を交付する支援対策を本年度も行っています。詳しくは、左記まで問い合わせください。

■問合せ 岩手労働局労働基準部賃金室
☎(604)30008

事業主の皆さんへ 労働保険料などの申告・納付 は7月10日(木)までに!

労働保険料は年度当初に概算で保険料

を納付し、翌年度に確定保険料を計算し、精算する方法がとられています。また、石綿健康被害救済のための「一般拠出金」についても申告納付が必要です。

事業主の皆さんは、期日までに、最寄りの銀行または郵便局で手続してください。電子申請による年度更新手続きも可能です。

■問合せ 岩手労働局総務部労働保険徴収室 ☎(604)3003

ボイラー技士などの 各種免許試験について

労働安全衛生法の基づく各種免許取得のための学科試験が、岩手会場で行われます。

■試験日 8月24日(日)

■会場 岩手産業文化センター(アピオ(滝沢市))

■受付期間

(窓口)6月23日(月)～27日(金)

(郵送)6月23日(月)～7月4日(金)

■受験可能な免許試験 ボイラー技士(1級、2級)、ボイラー整備士、クレーン・デリック運転士(クレーン限定)、移動式クレーン運転士、衛生管理者第1種、第2種、潜水士

※詳しい内容や他地区での開催日程については、同協会Hd(<http://www.exami.jp/>)をご覧ください。

■問合せ (公財)安全衛生技術試験協会
東北安全衛生技術センター(宮城県石沼市)
☎0223(23)3181

曠野をわたる そよ風に薫も匂う...

盛商同窓会紫波支部総会

(紫波町・矢巾町)

◆日時/平成26年7月5日(日) 午後5時(終了後懇親会)

◆場所/ショッピングセンターナックスホール ☎019-672-1810

◎懇親会費/男性4,000円 女性3,000円(当日受付)

※申し込みは6月30日(月)までをお願いします。

参加
申込

支部事務局

菅原 一 (S47卒) 携帯090-5352-8148

川村光英 (S56卒) 携帯090-8786-4675

こずかた診療所

内科・リハビリテーション科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 日土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。

※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)



地域の中で

高齢者が安心して暮らせる
ように、町が始めた取り組み
の名称は？ (ヒントは4ページ)

郵便はがきまたは電子メールで、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤答え⑥『紫波ネット』の感想や町政に対するご意見などを記入の上、ご応募ください。

応募期限は7月7日(月) まで

〒028-3392 紫波町役場

企画課 情報政策室「おそろいクイズ」係
電子メール joho@town.shiwa.iwate.jp

正解者の中から、抽選で図書カードをプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

●町に住んでいながら、まだ野村胡堂・あらえびす記念館に行ったことがありませんでした。たくさんのイベントがあることを知れて良かったです。今度家族で行きたいと思います。(赤石地区・女性)



キックボクシング で親交を深めませんか 「紫波キック」会員募集

ストレス解消、健康維持・増進のためなど、個々の目標に向かって、楽しく、さわやかに活動しているサークルです。

■日時 毎週土曜日、午後7時から9時まで

■会場 総合体育館の柔剣道室

■参加費 1回300円(スポーツ保険は別途)

IUMA日本振藩國術館と連携し、ブルース・リーで有名なジークンドー(截拳道)の講習会も行っています。見学だけでも歓迎ですので、お気軽にお問い合わせください。

鳥居(☎090-3644-1974)

事務局 榊原(jetttak@gmail.com)

楽しく体を動かして健康に! にこにこ太極拳サークル 会員募集

ストレッチなどで体をほぐしてから、体力に合わせてゆったりと動くので、誰でも無理なくできます。心穏やかな時間を過ごしてみませんか。

■日時 毎週木曜日、午後7時～9時

■会場 情報交流館(オガールプラザ)2階 中スタジオ

■会費 月3000円(初月無料)

■持ち物 上履き

■問合せ ☎070-5320-2615(高橋)

日本三大杜氏南部杜氏による

全国蔵元フェスティバル

純米吟醸
純米酒の部 6/27(土)
18:30~21:00

大吟醸の部 7/12(土)
18:30~21:00

定員60名
お一人様 4,500円 (税込)

定員80名
お一人様 6,000円 (税込)

完全前売りチケット制 ※定員になり次第締め切らせていただきます。※宿泊の方はプラス6,000円となります

■盛岡城跡公園前・盛岡駅西口/日詰商店街せせらぎ前・JR紫波中央駅からの送迎バスがあります。

紫波町小屋敷新在家90番地

☎019-673-8555

FAX 019-673-8556

URL <http://www.lafrance.co.jp/>



ハダカのおつきあいー家だんらん。

La France
ラ・フランス温泉館

「南部杜氏」発祥の地、紫波町を
はじめとする全国の酒蔵で活躍
する南部杜氏による約150種
類の「大吟醸」「純米吟醸」「純米
酒」を集めました。

ワイナリーでお待ちしております
直売・試飲・工場見学ができます

自園自醸ワイン紫波
岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お問い合わせは県内酒販店・スーパー・百貨店にて



(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原 1-11 (道の駅紫波の裏手)

☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

中央葬祭センター シンセラホール紫波

「しらゆり会員」募集中

- 生花・盛籠(各種)1,000円割引
※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。
- 祭壇貸出料20%割引
- 通夜室使用料20%割引
- 仏具展示品10%割引
- 引き出物・返礼品10%割引

入会金
10,000円

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

☎676-7676 FAX676-4404



工進 高圧洗浄機 農機具や自動車などの洗浄に
56,376円 便利な高圧洗浄機です!



フルテック
ロジカ
温水高圧洗浄機
388,800円

(株)マイタコーポレーション (古物商第211030000835号)

紫波郡矢巾町煙山17-78-1 ☎019(697)3939・FAX019(697)7028

紫波ネット広告を募集しています

◆掲載料 1枠10,800円(税込み) ◆申込・問合せ 企画課 情報政策室
☎672-2111 内線3232 ✉joho@town.shiwa.iwate.jp



花と香りのある憩いの場づくり

バラ好きの人が集まって活動している「ばらとも」のメンバー6人が、スコップやつるはしなどを持ち寄り、紫波中央駅前駐車場の南側にバラの苗を移植しました。植えられた苗は、昨年オガール入り□でいい香りを放ってくれた鉢植えのバラたちです。気づいていた人もいらつしたのではないのでしょうか。

また、残念ながら砂利土の固さに音をあげた私は、ポイ捨てされた空ペットボトルなどのごみを拾い集め、バラを引き立てる環境美化活動に注力しました。

今回植えた種類は、花の大きさが3〜4センチの重の可愛らしいつるバラ「キフツゲート」、四季を通して咲くピンクのつるバラ「アンジェラ」、つるバラでは一番人気で薄ピンクの花をつける「エルドロンサール」、病気に強く初心者にも育てやすく白い花をつける「サマーメモリー」の4種類です。枝の剪定などの手入れを行い、6月中旬ごろには花を付ける予定です。

参加者からは「今年は4本だけだけど、来年はもっと増やしていきたい」「パー「ラ」つるを絡ませる棚」なども作って、訪れる人が立ち寄ってくるところになればいいな」「ごみを捨てる人も減ってくればうれしい」との声が聞かれました。

これからの季節、清潔なまちづくりに配慮をしつつ、バラの花と香りに癒されるオガールを新たなスポットにしたいものです。



市民活動支援センター ゆいっとサロン

開設・電話受付時間：
午後1時～6時(月曜日休み)

☎676-2468

ブログ：ゆいっと気まぐれ日記

ゆいっとサロン

検索

町長メッセージ

早苗の上をさわやかな風が吹き抜けて、例年通りの6月の景色が広がっています。昨年8月9日の大雨により被害を受けた水利などの復旧が、各土地改良区をはじめ、関係各位のご努力によって田植えに間に合ったことに感謝申し上げます。

晴天と高温により県内各地で山林火災が発生し、農作物にとっても本場に雨が欲しいところですが、6月3日北海道の音更町で今年全国最高気温37.8度を記録しました。大正13年に帯広で同じ温度を記録しており90年前も今年の様な天候だったと推測されます。

志和稲荷前の水論(水げんか)は有名で、けが人が出るほどのものは、およそ390年前(寛永3年)から36回もあり、大正13年水論も大規模なものでした。その年は連日32度を超える炎熱が続き7月中旬になっても滝名川下流の大半で田植えができず、ようやく植えた所も枯死寸前の状態でした。7月14日夜、50余名が夜陰に乗じて、本流をせき止めたこと

が発端となり、日を追って500人、1000人と膨れあがり、川を挟んで対峙した群衆は、棒、竹やり、鎌などで武装し、投石の応酬の中で相手が手薄になった時に、とうぐわで掘ったり、俵で川をせき止めて水を引いたりという闘争が何回か繰り返されました。また、2つの水系に関係する志和、赤石、水分、古館、日詰の各町村長や40人程の水利委員が協議する中、郡長や日詰警察署長まで入り調停するものの、争いはエスカレートし、ついには盛岡署、花巻署まで出勤する事態。なんとか死者までは出なかったものの争いは19日間続きました。水論は昭和28年の山王海ダム建設によってようやく解決にいたっております。

住民自治が進んだ今日ではこのような事態はもはや考えがたいものですが、あらためてダムに感謝するとともに、われわれは先輩たちが築いた社会基盤の上で生活していることを忘れてはならないと思います。

熊谷 泉

時を刻む腕時計に、人生の思い出を刻みます!



「裏ぶた刻印」承ります

永年勤続、創業、結婚、就職など
御祝・記念品に!

詳しくはWebで

目明かし堂

検索

<http://www.meakashi.com>

☎676-2838

有限会社 サトウ時計店

紫波町日詰字郡山駅209 (日詰商店街・バス停前)



スマホ用QRコード

相心館 ゆう美容室

人気上昇 ヘッドスパデトックス
身体も心もリラックスで最高の癒しタイム

頭皮・頭髪のデトックスと嫌な臭いも取り除けます

メール会員になると、もっとお得な情報が
ゲットできます!携帯・スマホからアクセス!



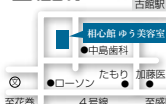
【定休日】6月15日・16日・23日・30日・7月7日・14日

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-32

TEL019-676-5825

E-mail yu@posh.jp メールアドレスが変わりました

OPEN 8:40
CLOSE 18:30





「へら棒」を通して伝わってくる力を感じ取りながら、作業を進める森田さん。へら絞りの技術に技能検定はないが、森田さんは平成19年度に高度熟練技能者として国から認定を受けている



加工する金属板の材質や形状に合わせて、作り手がこの中から最適の「へら棒」を選び抜く



森田博英さん
(森田製作(有) ☎672-3412)

シリーズ*行ってみよう
訪ねてみよう紫波の達人

『金属板との会話』を とおして極める0.1ミリの世界

森田製作有限公司 森田博英さん



へら絞り加工で作られた製品。
レントゲンの機器の一部として使用される

情報求む！
あなたの身近な達人を
ご紹介ください

町は、皆さんの身近にある「これはすごい!」「みんなに広めたい!」という達人技や名人、職人、趣味人など、紫波の魅力として紹介したいと思う地域の方々(企業)の情報を募集しています。小さな情報でも構いませんので、ご連絡をお願いします。

【連絡先・問合せ】

〒028-3392 紫波町役場 企画課
情報政策室「紫波の達人」係

☎672-2111(内線3232)

✉joho@town.shiwa.iwate.jp

「確かな製品に限りない技術を」。
森田製作(有)の事務所の入り口には、代表取締役である森田博英さんの仕事への熱意が宿った言葉が掲げられています。製造商品は、医療機器や電子機器、自動車の製造ラインで使用される部品や商船の計器類など、幅広い分野にわたります。NC旋盤加工などの機械加工のほか溶接や研磨機特殊加工で作られており、中でも特に「へら絞り」技術は、東北・北海道に本社のある会社では唯一の技術です。

へら絞りとは、1枚の金属板に型を押し当てながら、職人が外側から「へら棒」で力をかけて造形していくもの。機械プレス加工と異なり、金属板に無理をかけず、ならしながら加工することができるため、製品に割れが生じにくいことが特長のひとつです。

脇にへら棒を挟み、伝わってくる板からの負荷を感じ取って力加減や角度な

どを変え、0.1ミリの微調整を行うこの工法には、正に研ぎ澄まされた職人の感覚が求められます。へら絞りの極意について森田さんは「へら棒とおして『板と会話する』ことが一番大事。技術の向上には、常に自分の感覚を磨くことと創意工夫が必要です」と語ります。

「製品ひとつひとつに愛情と気を込めて作っているの、作ったものが世の中に役立つことが一番の喜びです」とやりがいを話す森田さんは「目指すところは、0.1ミリの狂いもない完璧な製品を作ること。規格以内だからと満足することなく、ひとつひとつが勝負という意識で、今後もより良いものづくりを追及していきたいです。いつか社内で設計から製造までを行った商品を世に出すことが私の夢です」と、今日もさらなる高みを目指して技術の研鑽に励んでいます。